

『青少年安心・安全ネットづくりセミナーin福井』を開催 ～青少年のスマートフォンの安心・安全な利用環境整備に向けて～



挨拶する伊丹局長

北陸情報通信協議会では、平成26年6月9日（月）、福井市地域交流プラザにおいて、北陸総合通信局（局長 伊丹 俊八 氏）、福井県青少年安心・安全ネット利用促進連絡会（座長 山川 修 福井県立大学学術教養センター教授）との共催により「青少年安心・安全ネットづくりセミナーin福井」を開催し、教育関係者、PTA、行政機関等から約90名の参加がありました。

冒頭、伊丹局長が「スマートフォンの利用が急速に増えている中、総務省では、今年度から多くの青少年が初めてスマートフォン等を手にする、春の卒業・進学・新入学の時期に合わせ、関係府省庁・関係事業者等と協力して、「春のあんしんネット・新学期一斉行動」として集中的な取組を展開している。本日のセミナーが、インターネット利用の実態やフィルタリングの有効性、ケータイ依存に陥らないための家庭内のルールづくりなど、具体的な対策を検討する上でのヒントにしていきたい。」と挨拶しました。

セミナーでは、吉岡 良平 氏（一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構事務局長）が「今時の子どもたちのネット・ケータイ ～子どもたちの多様な機器の利用と課題～」と題して、青少年を違法・有害情報にアクセスさせないためにもフィルタリングが大変重要であることや、大人も含め他人に迷惑をかけないようなネットの使い方等について講演されました。

また、佐久間 寛之 氏（独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター医師）が「青少年のネット依存症 ～その気付きから回復に至るまで～」と題して、医学的なネット依存の症状、実際の治療方法や予防方法等について講演されました。

最後に、山川座長が「最終的には子どもと保護者のリテラシーを高めていく必要があるが、ネット依存の問題はネットだけの問題でなく、日常生活を含めたケアが必要であり、議論を深めながら解決策を見いだしていくことが重要である。」と挨拶し、セミナーを締めくくりました。



講演する吉岡事務局長



講演する佐久間医師



盛況だったセミナー会場



最後に挨拶する山川座長